

5つの視点

1 地域資源のフル活用

2 教育のまち

3 雇用の創出

4 観光・交流

5 まちの経営

1 地域資源のフル活用

金物、山田錦、ゴルフという本市の3大看板である地域資源をフル活用し、地域の活性化を図ります。また、互いの産業を重層的に絡め、付加価値

の創出をめざします。特に、ゴルフのまち三木のブランド力を高め、交流人口の増加を図るとともに、新たなゴルフ関連産業の創出をめざします。



金物

○海外バイヤー向け、三木金物商工協同組合連合会が運営するホームページを外国語対応にするとともに、市内事業者のPRや、動画による三木金物の魅力と技術力を紹介するサイトを構築し、発信することで、新たな販路開拓への道筋を継続して支援

酒米山田錦

- 「新しい農業スタイル」を考えるため、農業振興課に山田錦振興係を設置し、山田錦・日本酒の振興と、スマート農業・6次産業化・農福連携※など、効率的な農業スタイルの構築を支援
 - 県が開催するブリュッセル国際大会(日本酒部門)「SAKE selection (サケ・セレクション)」に、原材料産地として三木市の地名を表記した日本酒を出品する酒蔵に、出品料を一部補助
- ※障がいのある方などが農業分野で活躍することで、自信や生きがいをもって社会参画を実現していく取組



ゴルフ

- 春高・春中ゴルフ(全国高等学校・中学校ゴルフ選手権春季大会)を恒久的に開催
- 全国トップクラスの中学生を招き、市内での強化宿舎を誘致
- 日本プロゴルフ協会と連携し、ジュニアゴルフアートを育成



令和3年度 三木市施政方針

問(市企画政策課)

2月25日、第363回三木市議会定例会で、仲田一彦市長が施政方針を発表しました。その中から、5つの視点の重要取組などについてお伝えします。

誇りを持って暮らせるまち三木
ポストコロナ時代の
「希望」と「夢」に向かって



施政方針の全文は、市ホームページからご覧いただけます。



ホームページはこちら

●コロナ対策を最優先とする方針

新型コロナウイルス感染症の影響が世界規模で蔓延するなか、人々の生命や健康への脅威、経済への打撃、社会の行動や個人の意識・価値観の変容など、この一年間、私たちはかつてない経験をし、日常生活にも大きな変化がもたらされました。市におきましては、新型コロナウイルス感染症対策として、50回を超える災害対策本部会議を開催、これまで9度の補正予算を編成し、定例会を含む7回の市議会を招集して、「市民の命と健康を守る」、「暮らしに必要な支援を届ける」、「地域経済を守る」、「市民サービスの基盤を守る」ための取組を続けてまいりました。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に向けては、刻々と変化する国からの通達に迅速に対応できるように、2月15日には、新たに「ワクチン接種対策室」を設置しており、万全の態勢で挑んでまいります。

●地方創生の加速化

コロナ最大の副産物として、東京一極集中が是正されつつあるという世の中の大きなうねりが、今起こっています。コロナを契機とした地方回帰のこの機運を力とし、これまで培ってきた三木創生への取組を更に充実し、魅力のあるまちづくりへ向け、一層の施策の推進を図ってまいります。ポストコロナ時代への第一歩となる本年は、次に掲げる5つの視点で三木創生を推進・展開してまいります。